

★2020 年度地質の日記念 第 9 回街中ジオ散歩 in Yokohama

「身近な地形・地質から探る横浜の発展」徒歩見学会

身近な地質とその地質に由来する地形について、それらを利用してきた先人から現在の私たちまでの営みを、専門研究者の案内で楽しく学ぼうという企画です。今回は、横浜駅市街地を囲む形で京急神奈川駅から旧東海道を経由し、JR 桜木町駅まで反時計回りに歩き、台地と平地（埋立地、干拓地）及び台地平地境界部を散策します。

横浜駅周辺は元々台地が海岸部まで迫っており、横浜駅周辺、みなとみらい周辺の平地の多くは干拓や埋め立てにより造られた歴史があります。前半では台地上にある明治初期の領事館跡をめぐることで、当時の地形と横浜港との関係について学びます。また、台地から平地（横浜駅市街地方面）を眺めることで、地形面の分類・分布状況を学習し、日本で最初に出来た鉄道が当時どのような場所に造られたかについても学びます。横浜市防災センターでは、防災についての学習をするとともに、歴史的な大地震の揺れを体験します。

後半は新田間橋における排水路水面と市街地の高さの対比から横浜市中心部が埋め立てや干拓によって造られたことを学び、桜木町付近の掃部山（かもんやま）周辺では、房州石（千葉県産の石）の石垣を観察するとともに、台地端部からの湧水がかつて蒸気機関車の水源になったことを学びます。初夏の清々しい空気の中を、楽しく“ジオ散歩”したいと思います。

主催：一般社団法人日本地質学会、一般社団法人日本応用地質学会

後援：横浜市教育委員会

日時：2020 年 5 月 16 日（土）9:00～16:00 小雨決行（予定）

見学場所：神奈川県横浜市（旧神奈川宿～旧東海道～桜木町周辺）

案内者：笠間友博氏（箱根町立箱根ジオミュージアム）

会費：高校生以上・一般：1,500 円、小・中学生：500 円（保険代を含む）

（注）参加費は、当日現金でお支払い下さい。昼食は各自ご持参下さい。

集合場所・時間：幸ヶ谷公園（京急東神奈川駅徒歩 3 分） 9:00 集合

見学コース（予定）：9:00 幸ヶ谷公園→本覚寺（旧アメリカ領事館）→望欣台（ぼうごんだい）（海上の鉄道盛土）→上台町公園（関東ローム露頭観察）→横浜市防災センター（地震体験・昼食）→沢渡公園露頭（露頭観察）→新田間橋（埋立地・干拓地）→掃部山（かもんやま）一帯（房州石の石垣）→姥岩（桜木町）解散 16 時ごろ

募集人数：30 名程度

対象：小学生以上。ただし、小・中学生の方は保護者の同伴をお願いします。また、本行事は

一般向け普及行事です。会員も申込可能ですが、定員を超えた場合は、非会員の一般市民の参加を優先します。また、家族、友人など、グループでの参加希望の場合は、それぞれの備考欄に代表者名を記入してください。グループでの応募は、本人を含め最大 4 名までとします。

申込受付期間：2020 年 4 月 6 日（月）～4 月 19 日（日）（申込者多数の場合は抽選を行います。
結果は 4 月中に郵送で全員にお知らせします）

申込方法：学会 HP の申込み専用フォームまたは、FAX にてお申込み下さい。

【申込み専用フォーム】<http://www.photo.geosociety.jp/geosanpo2020.html>

【FAX の場合】記入事項 1～6 をすべて記入願います。メール等がない場合は“なし”とご記入下さい。1. 氏名, 2. 自宅住所（郵便物を受け取れる住所）, 3. 携帯等電話番号, 4. メールアドレス, 5. 生年月日, 6. 性別（注）小・中学生の申込の際は、1, 5, 6 について保護者の情報も明記して下さい。また、学生の方は学年のご記入をお願いします。

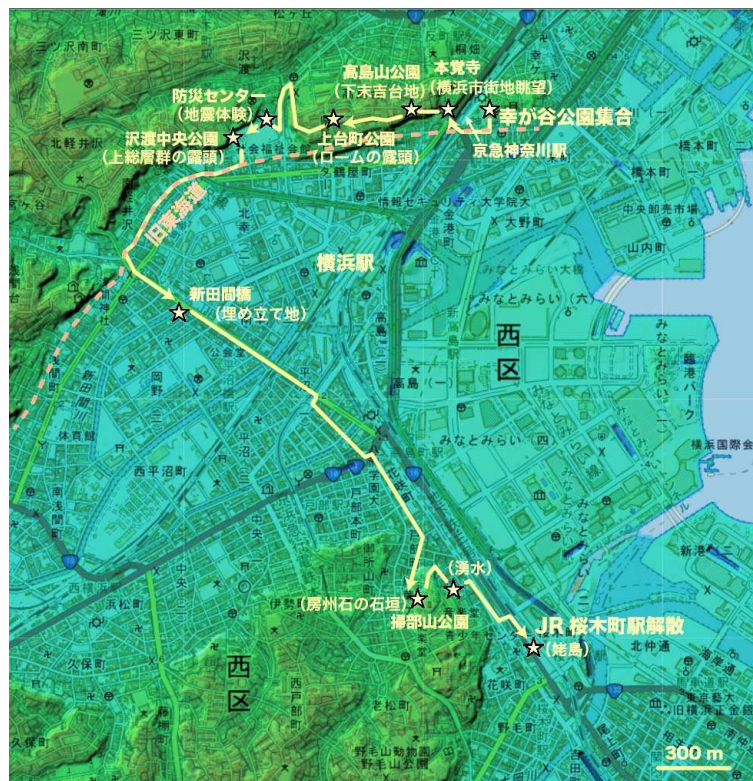
申込・問い合わせ先：一般社団法人日本地質学会（担当 細矢）

電話：03-5823-1150 FAX：03-5823-1156

メール：main@geosociety.jp

HP：<http://www.geosociety.jp>

* 学会 HP にて情報を更新いたします。そちらもあわせてご確認下さい。



コース案内図